



余養だより

令和8年3月25日
令和7年度第4号
北海道余市養護学校発行

これからも地域と共に成長する学校を目指して

北海道余市養護学校長 宮 岸 尚 平



ついこの間、令和7年度がスタートしたと思っておりましたが、本日で今年度の教育活動が全て終了いたしました。本当にあっという間の1年でした。短く感じられる1年ではありましたが、この1年の中で子どもたちは大きく成長したと感じております。保護者の皆様も同じように感じていらっしゃるのではないのでしょうか。今後も教職員一丸となって、子どもたちの学びと成長を支える教育活動を推進してまいります。

さて、本校の今年度の重点教育目標は「子どもたちが地域と共に学び 共に成長する教育活動の推進」としました。子どもたちの将来の自立と社会参加を目指し、日々の教育活動を学校だけで完結するのではなく、地域の方々と一緒に活動したり、余市町内や近隣の街の地域資源や豊かな自然環境を活用した学習に取り組んだりしてきました。

池田果樹園様ではリンゴ狩りを体験し、収穫する楽しさだけでなくリンゴが実るまでの過程を学ぶことができました。余市紅志高校の生徒さんとは一緒にミニトマトの種まきから収穫まで行ったり、イオン余市店でのコラボ商品の販売を一緒に行ったりすることができました。余市防備隊の皆様とは一日防災学校を実施し、災害時の行動について学ぶ貴重な機会となりました。さらに、後志総合振興局農務課と連携した農福連携事業として、新藤観光農園様での就労体験を行うこともできました。このような教育活動をとおして、子どもたちは地域の良さを知り、地域の方々の気持ちを感じ、地域で働くことをとおして、学校だけでは身に付けることができないたくさんの力を身に付けることができました。

また、本校の子どもたちの活動が地域の方々から感謝される場面も多く見られました。「ありがとう」「またお願いします」と声を掛けていただくことは、子どもたちにとって「自分たちの活動が人の役に立っている」「自分も社会の一員である」という実感につながり、自信を深める大きな励みとなっており、同時に、共生社会の実現に向けた取組にもつながっているものと感じております。

小・中学部、高等部の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。4月からは新しいステージでの生活が始まります。それぞれの場所で個性を輝かせ、自分らしい花を咲かせていくことを心から期待しています。また、在校生の皆さんも、4月からの学校生活がこれまで以上に充実したものとなるよう元気に過ごしてください。

最後になりますが、保護者の皆様はじめ地域の皆様、関係機関の皆様、今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をお願いします。一年間ありがとうございました。

～小学部～

小学部は、新しく7名の1年生と2名の転入生を迎え、日々の学習や行事を通してたくさんの経験を重ねてきました。体育発表会では、日頃の学習の成果を発揮し、元気良く、器械運動やリレーを発表することができました。小樽方面に行った5年生の宿泊研修やルスツリゾートでの6年生の修学旅行は、友達と一緒に活動することで、生活や社会に関わる学びを広げる機会となりました。

また、小樽市や余市町の地域資源を活用した活動では、実生活に結びつく体験的な学習に取り組むことができ、児童の学びと経験の広がりにつながった一年となりました。



～中学部～

今年度、新たに6名の新中一年生を迎え、19名の生徒で学習活動に取り組み、一人一人が「個別の課題」を大切にしながら、一歩ずつ学習を積み重ねてきました。作業学習では、箸の袋詰め、みつろうラップ作り、布や空き缶のリサイクル活動に取り組み、「働くこと」の基礎を学び、将来を見据えてステップアップを図る貴重な経験になりました。地域資源を活用した学習「北しりべしクリーンセンターへの社会見学」では、地域のごみ処理施設を保護者と一緒に見学し、ごみの分別、リサイクルへの取り組みについて学び、家庭でも一緒に考えるきっかけとなる学習となりました。様々な学習活動を通じて経験を積み重ね、自らの成長を実感できた、実り多い一年となりました。



～高等部～

高等部の最初の大きな行事は5月の見学旅行です。今年度は、3年生が2泊3日で東京に行き、科学未来館やディズニーランドなどで、友達と一緒に学校ではできない経験をする事ができました。職場体験学習では、余市町の観光農園に行き、仕事の見学や作業の手伝いなどをさせていただきました。体育記録会では、それぞれがいろいろな種目に取り組み、練習の成果を発揮する事ができました。高等部祭では、木工・手芸・紙工のグループで製作した製品を校内で販売し、たくさんの方々に購入していただきました。現場実習は、学年ごとに時期や日数が違います。生徒によって実習内容や場所も違いますが、それぞれが余市町内外の事業所等で実習を行いました。現場実習は、学校とは違う環境の中で、日頃身に付けた力を発揮できる貴重な機会です。生徒達は、毎年実習の経験を積み重ね、日々、いろいろな場面で卒業後の生活をイメージしながら、将来に向けて必要な力を付けるために頑張ることができました。



～訪問～

在宅訪問では、各自宅での学習に担任の先生と自分達のペースでじっくりと学習に取り組みました。様々な学習活動を通して、将来の生活に繋がる力を身につけようと学習しました。また、学校での行事に参加できる児童生徒は、小樽水族館での校外学習や音楽・学習発表会も参加し、在校生との交流を広げました。

施設訪問では、コロナ禍による規制がほぼ解除され、今年度は小樽市内で行われた在校の宿泊研修に校外学習として参加したり、施設の目の前にあるウイングベイ小樽や施設内のコンビニエンスストアで買い物学習を行ったりするなど、よりアクティブに学習に取り組むことができました。



～寄宿舎～

この一年を振り返り、寄宿舎生は町内での買い物といった日常的な外出に加え余市神社祭への参加や近隣果樹園へのリンゴ狩りなど、地域の魅力に数多く触れることができました。今後も寄宿舎生が地域の中で充実した生活が送れるよう、地域の皆様のお力添えをいただきながら、さまざまな活動に取り組んでまいります。寄宿舎生はこの1年間、将来の生活を見据えた目標を掲げ、日々の学習や生活スキルの習得に繰り返し励んでまいりました。卒業後の生活に向け、一步一步確実に成長を成し遂げた1年となりました

